

冷涼感を有する県産の香り探索と新規アロマ製品の開発 — 県特産の柑橘「橙(ダイダイ)」の香り —

[背景・目的]

植物から得られる天然の香りには、健康や美容等への有用な作用が期待されています。最近では、冷涼感を生じさせる新しい成分も見出されはじめ、冷涼化剤や飲料等に活用されてきています。一方、静岡県には、農産物をはじめ、香りの活用が期待できる様々な植物資源が豊富にあります。そこで本研究では、冷涼感を有する県産の香りを探索し、これらを活用した新しいアロマ製品の開発を目指しました。

[研究成果]

- ・ 静岡県の特産柑橘ダイダイの果皮油に、冷涼感に関わるヒト受容体 hTRPA1 への作用活性を見出しました (静岡県立大学)。
- ・ ダイダイ果皮油を既存の冷涼化剤 1-メントールと共に化粧用ジェルに添加したところ、1-メントール単独と比較して、①腕の皮膚への塗布時において、冷覚への影響は認められず、②香りの吸入時には、より穏やかな冷覚刺激と顕著な嗜好性の向上 (主観評価) 及びリラクセスの傾向 (生理応答) が認められました。

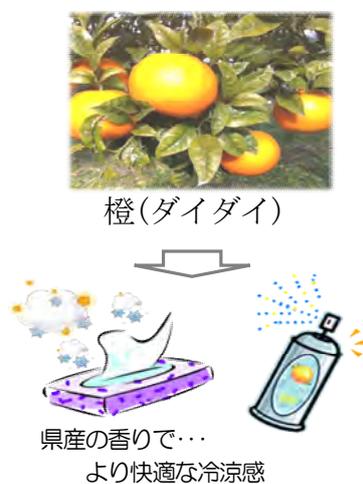


図1 開発製品のイメージ(例)

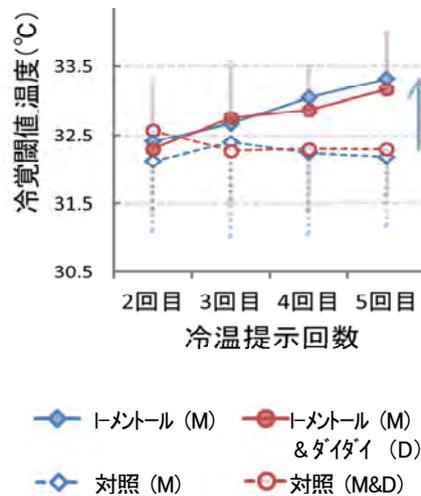


図2 冷覚閾値_温度測定

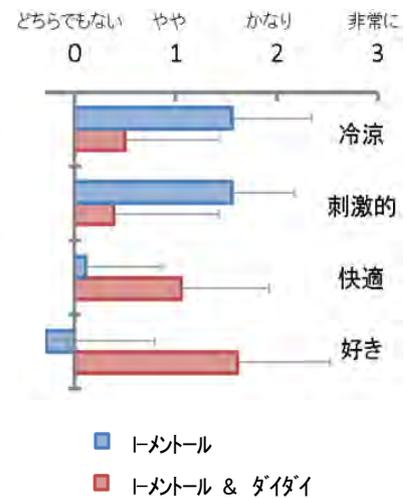


図3 印象評価_SD

[研究成果の普及・技術移転の計画]

橙(ダイダイ)の香りをはじめ、県産の香りの多面的な機能を明らかにしていくなかで、その機能を活かした新しいコンセプトのアロマ製品を提案したいと考えています。

香りを活用した様々な製品群、雑貨や香粧品・空調剤(器)・食品等の開発によって、静岡産と銘打った製品・サービスが県内外に発信されることが期待されます。